

奨学金一覧

この一覧表は2023年3月までの実績に基づき作成しており、毎年度公募が行われることを保証するものではありません

学校区分	奨学金名称	月額(円)	採用時の年次	応募区分	対象・基準 (一部抜粋して掲載)	採用期間	重複制限	財団 締切※ ※奨学金内 割はそれ より前	過去の実績 合格数(推薦数)						
									2024	2023	2022	2021	2020	2019	
<b>毎月給与の奨学金</b>															
学部 院	SGH財団 私費外国人留学生奨学生	U 120,000 M 120,000 D 120,000	U 3年～ M 1年～ D 2年～	大学 推薦	①東南アジア諸国(フィリピン、インドネシア、シンガポール、マレーシア、タイ、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア)の国籍を有する私費外国人留学生 ②学部3年次に進学、大学院修士課程(博士前期課程)1年次に入学、または博士後期課程2年次に進学する者 ③学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者 ④年齢は学部生が27歳未満、大学院学生は35歳未満であること ⑤他の奨学金を受けてない者 ⑥奨学金受給期間中において、財団が主催する交流会・採用証書授与式に出席できる者 ⑦奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者	2年	有	4月 中旬	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
学部 院	朝鮮奨学会 大学・大学院奨学生	U 25,000 M 40,000 D 70,000	1年～	大学 推薦	日本の大学(学部・大学院)に在籍している韓国人・朝鮮人学生で、成績が優良で学費の支弁が困難な者。2021年度より、全ての奨学金との併給可。 学部生:満30歳以上、大学院生:満40歳以上の場合は応募できない。 ※成績条件あり。	1年	無	5月 月上旬	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)		
学部	東京YWCA「留学生の母親」運動奨学金	30,000	U 1・2年	個人 応募	①日本の大学(学部)・専門学校に在籍する、在留資格「留学」の1・2年生の私費留学生 ②面接及び報告会に参加できること ③年間総額36万円以上の他の奨学金・それに類するものを受けていないこと	1年	条件付	5月 月上旬	◇	◇	◇	◇	◇		
院	本庄国際奨学財団 外国人留学生奨学金	月額21万、 19万、16万 より(条件あり)	大学院生	個人 応募	①日本国籍を持たず、大学院に在籍している者、または入学予定の者(年齢制限あり) ②奨学金支給開始時点で在籍期間が残り1年以上あること。 ③大学院修了後、母国に貢献する将来計画を持つ者。 ④国際親善や交流に理解を持ち、財団で行う行事・同窓会ネットワークに参加・協力できる者	1年～	有	5月 下旬、 10月 下旬	◇	◇	◇	◇	◇		
学部	日本国際教育支援協会 JEES留学生奨学金(修学)	40,000	2年～	大学 推薦	①4月に日本の大学の学部2年次以上の私費留学生。在留資格「留学」 ②受給期間が1学年以上ある者。学業成績優秀者 ③本奨学金の受給期間中、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体からの奨学金等の受給合計が60万円以下(月額5万円相当)である者。[貸与型奨学金、学費免除は除く。] ④ボランティア活動や国際交流活動の実績、またはこれらの活動への意欲のある者 ⑤奨学金受給終了後も、本協会に対して近況等を連絡する意思のある者	最長 2年	条件付	6月 月上旬	0 (0)	0 (1)	0 (0)				
学部 院	日本国際教育支援協会 JEES日本語教育普及奨学金(日能)	50,000	1年～	大学 推薦	①日本の大学の学士課程、又は修士課程(博士前期課程及び一貫制博士課程の1～2年次を含む)、又は博士課程(博士後期課程及び一貫制博士課程の3年次以上を含む)。 ②日本国籍を有する者、日本への永住を許可されている者、日本に在留する間の在留資格が「留学」である私費外国人留学生。 ③本協会が前年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者。 ④本奨学金の受給期間中、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体からの奨学金等の受給合計が30万円以下(月額5万円相当)である者。[貸与型奨学金、学費免除は除く。]	6か 月	条件付	6月 下旬	0 (0)	0 (0)	募集な し	0 (0)	0 (0)		
学部 院	佐藤陽国際奨学財団 私費留學奨学生	U 180,000 G 200,000	U 2年～ G(在籍し ている者お よび入学 が決定して いる者)	大学 推薦	ASEAN諸国及び南西アジア諸国(バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナム)から来日し、日本に私費で留學する学生で、日本の大学の正規課程に在籍又は合格が決まっている留学生 ①国際理解と親善に関心を持ち、交流会に出席できる者 ②他の団体などから奨学金またはそれに類する金品を受給していない者 ③学内の特別プログラム等で、用途の自由な金銭を受給していない者 ④在留資格「留学」を有する者 ⑤日本で就業している親がいない者 ⑥「博士」の学位を取得していない者 ⑦勉学・研究に支障のない日本語能力を有する者在籍している者および入学が決定している者 ⑧当財団主催交流会に参加できること(年6回、主に東京で開催。交通費支給) ⑨当財団の奨学生を終了後、財団の交流活動やネットワーク参加等に積極的に協力出来る者	2年	有	春と秋 の2回	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

U：学部、G：大学院、M：修士課程/博士課程前期、D：博士課程/博士課程後期

◇：個人応募につきデータなし

学校区分	奨学金名称	月額(円)	採用時の年次	応募区分	対象・基準 (一部抜粋して掲載)	採用期間	重複制限	財団締切※ ※学内締切はそれより前	過去の実績 合格数(推薦数)					
									2024	2023	2022	2021	2020	2019
院	アツミ 渥美国際交流財団 奨学生	250,000	大学院博士課程	個人応募	①日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある者(留学生および日本人学生)。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含む。 ②大学院と自分の居住地が、関東地方にある者。 ③国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある者。 ④日本語が堪能な方 ⑤当奨学金の受給期間、正規の職(常勤職)に就いたり、他の奨学金(月額10万円以上)を受け予定のない者。	1年	有	9月下旬	◇	◇	◇	◇	◇	◇
学部院	ヨネヤマ ロータリー米山記念奨学会 奨学生 第2580地区	U 100,000 G 140,000	U 3・4年 M 1・2年 D 2・3年	大学推薦	①日本以外の国籍を有し、在留資格「留学」の者(「難民」で大学等在学中の者を含む。) ②指定校に在籍し、大学推薦を受けた者 ③学部生:採用時に3・4年生/大学院生:採用時に修士課程1・2年に在籍する者、博士課程2・3年に在籍する者 ④年齢は45歳未満であること ⑤当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金およびこれと同種の個人に与えられる補助金など(以下「他奨学金」と表記)と同時に受けることはできない。	最長2年	有	10月中旬	2 (2)	0 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (4)	0 (1)
学部院	ヘイワ ナカジマ 平和中島財団 外国人留学生奨学生	U 120,000 G 150,000		大学推薦	①応募時に日本の大学に在籍する外国籍を有する学生で、採用年度に応募時と同じ大学の正規課程に在籍予定の者 ②在留資格が「留学」である者 ③他の奨学金・助成金との併給は認められない。	1年	有	10月下旬	1 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)
学部院	(公財)東華教育文化交流財団 私費中国人留学生奨学金	100,000	U 3年～ M 1年～ D 1年～	個人応募	①日本の大学・大学院に在学または入学する私費中国人留学生(台湾、香港、マカオ出身者を含む)で、留学生生活上経済的援助を必要とする認められる者 ②学力優秀で、身体健康な者 ③奨学金受給期間中、原則として6か月以上、海外に逗留する予定がない者 ④月額5万円を超える他の奨学金との併給は認められない。	最長2年	条件付	11月下旬	◇	◇	◇	◇	◇	◇
学部院	ヒトリ コクサイ 似鳥国際奨学財団 奨学生	50,000	U 1年～ M 1・2年	個人応募	①日本以外の国籍を有し、在留資格「留学」の者 ②採用時、学部1年次以上または修士課程に正規生として在学する私費外国人留学生 ③他の奨学金を受けない者 ④学業、人物ともに優秀であり、健康である者 ⑤日本語による意思伝達が十分可能である者(JLPT・N3が目安) ⑥国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 ⑦選考結果に応じて、優秀者には最大3万円/月の学習奨励金を追加支給 ⑧他の給付奨学金との併給は認められない。	1年	有	11月中旬 (上期募集) 5月中旬 (下期募集)	◇	◇	◇	◇	◇	◇
院	(財)高久国際奨学財団 外国人奨学生	70,000	D 1年～	個人応募	①外国の国籍を有し、在留資格「留学」の学生 ②日本の大学院博士後期課程在籍(学部生、修士課程不可) ③本奨学生となった場合、他の奨学金・助成金等を受けていないこと。(博士課程を対象とした公的な支援制度「日本学術振興会・特別研究員」等も併給不可。但し貸与型奨学金は併給可。) ④東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県の大学に在籍する学生 ⑤日本語能力試験1級に準ずる会話力及び文章力を有する学生 ⑥国際理解と親善に関心を持ち、貢献を意図する学生 ⑦月例会(月に1回、土曜日)、財団の定めた行事に必ず出席できる学生 ⑧月末に400字のレポートを必ず提出できる学生 ⑨奨学金支給終了後も財団と通信等を継続する意思のある者	1年	有	11月下旬		◇	◇	◇	◇	◇
学部院	ナカグチ 坂口国際育英奨学財団 奨学生	100,000	U 3年～ G 1年～	大学推薦	①当財団の指定する大学に在学し、大学学長より推薦が受けられる者 ②人物、学業ともに優れ、進級、卒業が可能な者 ③卒業後の将来計画が明確で国際的発信力を身につける素養と意欲のある者 ④応募時の年齢が学部:30歳/院:35歳以下の者 ⑤留学生活に奨学助成を必要とし、他から奨学金の助成を受けていない者 ⑥居住地が確定し常に連絡がとれ、財団の会合・行事に参加できる者	最長2年	有	11月下旬	1 (1)	1 (1)	0 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (1)

◇:個人応募につきデータなし

U:学部、G:大学院、M:修士課程/博士課程前期、D:博士課程/博士課程後期

学校区分	奨学金名称	月額(円)	採用時の年次	応募区分	対象・基準 (一部抜粋して掲載)	採用期間	重複制限	財団 締切※ (※学内締切はそれより前)	過去の実績 合格数(推薦数)					
									2024	2023	2022	2021	2020	2019
学部 院	ハセガワ 長谷川留学生奨学財団 奨学生	U 100,000 G 120,000	U 2年～ G 1年～	大学 推薦	①アジア各国からの留学生 ②都内の大学に在籍し、学長または学部長の推薦を得た者 ③東京都内に在住の留学生	2年	明記 なし	11月 下旬	0 (2)	1 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	0 (1)
学部 院	キョウワ 国際協和奨学会 私費外国人留学生奨学生	120,000	U 2年～ G 1年～	大学 推薦	①日本国籍を有しない私費外国人留学生で大学等に在学する者 ②学業・人物ともに優秀で、経済的援助を必要とする者 ③他の奨学金を受けていない者 ④国際的感覚と親善に関心を持ち国際交流に貢献を期する者	最長 2年	有	12月 月上旬	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
院	朴龍九育英会	70,000	D 1年～	大学 推薦	①日本の大学院に在学または入学予定で、2024(令和6)年4月1日以降も在籍している外国人留学生(研究生除く) ②応募時点で、日本の大学院に在籍する留学生(研究生を除く)で、下記年齢を満たす者・修士課程 30歳未満、②博士課程 35歳未満 ②他の奨学金等の給付を受けない者。(公的機関または学内奨学金で5万円以下の場合を除く) ③経済的支援が必要と認められる者 ④月1回の月次報告書を提出し、オリエンテーション・交流会等に参加可能な者 ⑤世界平和に寄与し、社会の発展に貢献する意思のある者 ※2024年度から大学推薦	1年	条件 付	10月 月下旬	0 (0)	募集 なし	◇	◇	◇	
学部 院	キョウリツ 共立国際交流奨学財団奨学金	100,000	U 2年～ G 1年～	大学 推薦	日本以外のアジア国籍を持つ私費留学生で ①採用年度初めに在籍残期間が最低1年以上の者(研究生/留学生別科/オーバードクターは対象外) ②人物、学問ともに優秀であり、志操堅実かつ健康である者 ③奨学金授与式に参加できる者 ④報告書・作文提出が可能な者	1年	有	1月 月下旬	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)
学部	キョウリツ 共立メンテナンス奨学基金奨学金【または共立国際交流奨学財団奨学金を財団側で決定】	60,000	U 2年～			1年	条件 付 (5万円以下 なら併給 可)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (1)
院	カンバヤシ 神林留学生奨学会 私費外国人留学生奨学生	140,000	G2年～ (G1年例 外あり)	大学 推薦	①アジア諸国・地域出身の者である者 ②本会が指定する大学院の在学者 ③採用年度の4月1日現在1年以上在学する私費外国人留学生、在留資格「留学」の者 ④留学生生活上経済的援助を必要と認められ、学業成績が優秀な者 また交流活動に積極的に参加できる者	最長 2年	有	3月 中旬	(1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

奨学金一覧

この一覧表は2023年3月までの実績に基づき作成しており、毎年度公募が行われることを保証するものではありません

学校区分	奨学金名称	月額(円)	採用時の年次	応募区分	対象・基準 (一部抜粋して掲載)	採用期間	重複制限	財団 締切※ ※学内申請はそれより前	過去の実績 合格数(推薦数)						
									2024	2023	2022	2021	2020	2019	
一括支給の奨学金		一括													
学部院	オオツカシニクエイショウガクザイダン ショウガクキン 大塚敏英育英奨学財団 奨学金	年額200万、150万、100万(財団による評価に応じて決定)但し他奨学金併給の場合は年額50万円	U 3年～ G 1年～	個人応募	①満38歳以下の私費外国人留学生(在留資格が「留学」で日本国籍を持たない者) ②日本国内の大学又は大学院の正規課程に在学し、人の健康に関する分野(医学、薬学、生物学、栄養学、体育学、工学等)及び経営学(発展途上国出身の場合は「国際関係分野」も含む)の研究をしている者(ただし、学部は3年次以上のみ応募可) ③向学心に富み、学業優秀であり、品行方正である者 ④財団に提出する書類(応募書類を含む)に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる者 ⑤奨学期間中に合計40日以上日本を離れない者 ⑥国際的視野を持ち、日本と各国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる者 ⑦独自性のある研究、革新的な研究に携わる者 ⑧学資の支弁が困難と認められる者 ⑨当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力出来る者 ⑩研究成果をもって社会貢献を期する者	年度	条件付	4月下旬	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
院	CWAJ 外国人留学生大学院女子奨学金 (NJG Program)	年額 2,000,000		個人応募	①日本以外の国籍を有し、かつ日本に永住権を持たない女性で、日本の大学院に学位取得を目的に在籍する者 ②出願時に勉学を目的に日本に在住している者 ③英語の小論文を書いて提出すること	年度	有	10月上旬	◇	◇	◇	募集無し	◇	◇	
日本女子大学の奨学金		一括													
学部	日本女子大学 <sup>ヒヤマ フジ</sup> 野見山不二留学生奨学金	年額 100,000※	1年～	学内選考	①本学の学部にて正規生として在籍する私費外国人留学生 ②経済的援助を必要とし、健康で学業・人物ともに優秀な者 ③他の財団等から奨学金を受けていない者(月額5千円以下は可) ※金額は変動する可能性あり	年度	条件付	10月下旬	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	
物品による支援															
学部院	ジョウドショウ 浄土宗平和協会 私費留学生希望図書支援 ブックギフトin TOKYO	図書現物	1年～	個人応募	①私費外国人留学生であること。日本国の国費外国人留学生ではないこと。 ②留学の在留資格を有すること ③大学・短期大学・大学院・専修学校(日本語学校を除く)に留学していること。 ④図書授与式に出席できること ※授与されるのは税込22,000円以内の図書又は税込合計22,000円以内で4冊までの図書。		無	10月上旬	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
国籍を問わない毎月給与の奨学金															
学部院	モリタニ 守谷育英会 奨学生	120,000	1年～	大学推薦	①東京都内の大学等に在学、または東京都内に居住し、大学等に在学している学生で学業・人物とも優秀であって学資の支弁が困難な者 ②外国人留学生も、適格者は採用する。(但し、国費留学生の応募は不可)	最長 4年	無	4月下旬	0 (0)	外国人 留学生 対象	0 (3)				
学部院	ヤマダ オサミン 山田長満奨学会 奨学生	120,000		個人応募	①日本以外の国籍を有する者については、原則として、在留資格が「留学」で来日している者(永住権所持者は不問) ②国内に居住し、国内に所在する大学等に在籍する者 ③35歳未満の者	1年	無	12月中旬	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
国籍を問わない一括給与の奨学金															
学部院	トベ マキ サイダン 戸部真紀財団	月額6万 (年額72万円) 併給(返済義務なし)の場合は半額の場合あり、博士課程を対象とした公的な支	U 3年～ G 1年～	大学推薦	[1] 日本の大学及び大学院で修学している者 [2] 学部学生(3年生、4年生)、修士課程、博士課程の者 [3] 30歳以下 [4] 化学、食品科学、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学の分野で修学している者 [5] 向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 [6] 学資の支弁が困難と認められる者 [7] 奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 ※分野は、在籍する学部・学科、研究科に関わらず、対象分野のいずれかに関連する研究をしていれば応募可。 ※留学生は私費留学の者に限る。	2年 (条件付きで 4年)	条件付	5月上旬	◇	◇	◇	◇	◇	◇	

◇：個人応募につきデータなし

U：学部、G：大学院、M：修士課程/博士課程前期、D：博士課程/博士課程後期